

全員バスケット!

昨年度秋のリーグ戦、本塾は、年々激化していく三部の荒波に苦しめられた。本年度は「チーム力」をコンセプトに、全員で白星を取りにいってシンプルだ。

一、責任と自覚
二、信頼関係
三、感謝の気持ち、この三カ条を胸に、早稲田に立ち向かう。

本年度のチームは新たなスタッフを迎え、体制を一新した。アシスタントコーチに金澤健太氏(元慶應女子高コーチ)、アドバイザーに木下佳子氏を迎えた。経験豊富な二人の指導も加わった本塾の今後に乞うご期待!

責任と自覚

本塾が現在大切にしているのは、『部員一人一人が、チームの勝利に対する己の責任を自覚し、行動する』ということである。全員バスケこそ、本塾の生きる道だと考える。

部内一の「全員バスケット」現者は、やはりこの人、主将#4 磯貝だ。磯貝は三年時からスターティングメンバー。粘り強く堅実なプレーで勝利に貢献してきた。誰よりも背中で語る女、磯貝のガッツ溢れるプレーに注目してほしい。四年、そして主将の意地を見せてくれるだろう。



4年 磯貝佳菜子 (#4)

副将#5 正田は本塾の元氣

印。持ち前の明るさと合わせの感性で、コート内外両方からチームに流れを呼び込む。常に前を向く、ポジティブな姿勢でチームをけん引する。
#6 野口のしなやかなプレーは後輩の憧れである。一見大人しく見えるが、野口の攻撃力はチームの要だ。彼女の闘志がチームを勝利へ誘うこと、間違いない!

今年の四年生は全員が付属校出身、内部進学生という、珍しい構成だ。究極の慶應愛を持つ彼女達、最後の憧れの舞台「早慶戦」で燃えない訳が無い。

ここからは、しつかり者が集まる三年生を紹介する。#7 加藤は落ち着き漂う風格と存在感で得点を重ねる。彼女がゴール下にくれる安心感は莫大である。

怪我から復帰したばかりの#8 大嶽。苦しい期間を乗り越えた大嶽は、必ずや天性の攻撃力をコートで爆発させてくれるだろう。

#10 石川には巧みなボールハンドリングで相手を翻弄して欲しい。いつも一生懸命な石川の姿勢は先輩からもリスペクトされるほどである。

復帰を目指してリハビリ中の千代延と清水、そして主務長谷川と副務大西。この四名も、チームにいかに関与するかを考え、行動している。

上級生を筆頭に、チームがまとまり始めている。

若い力

全員バスケットで挑む本年度の本塾は、積極的に若い力をコートに送り出す。

#16 前川(二年)にはチームメイト全員が絶大なる信頼を置いている。オフフェンス・ディフェンス共にチームのトップクラスである前川。彼女が勝利の鍵を握っているといっても過言ではない。

#11 柏木は見た目の可愛さからは想像出来ない、ど根性プレーを繰り出す。柏木の伸び伸びとした元気のいいプレーは本塾にとつて貴重な存在であり、チームを元気づける。

#12 川村は腰に爆弾を抱えながら、全力投球を続ける、熱い選手だ。軽やかな身のこなしは運動神経の良さを感じさせる。

#15 保井は力強いボール運びで、早稲田のディフェンスをかいくぐってくれるだろう。自らゴールを狙うことも忘れず、ディフェンスでも粘り強く食らいつく。

#17 森下は本塾期待の一年生。春休みから積極的に練習に参加してきた森下、果たして早慶戦デビューは叶うのだろうか!?



4年 野口有佑美 (#6)



2年 前川 愛 (#16)

感謝を伝える

ご来場頂いた皆様へ伝えたいことが一つある。慶應義塾体育会大学女子バスケットボール部の部員には、芯がある。追い求める理想がある。何故バスケットを続けているのか、その先に何があるのか。総二十一名のスタッフと学生が一丸となり、「勝利」へ突き進む毎日を幸せに感じている。この幸せを支えてくれている全ての人々に、今日は感謝の気持ちを伝えたい。

それでは、本塾の全員バスケットをご堪能あれ!

